

三省堂『精選現代文B 改訂版』（現B 324）評価規準例案 資料

教材名	ヤマザキマリ「地球上の『旅人』」	配当時間	3
学習のねらい	「旅」に対する筆者の想いを読み取り，話し合うことができる。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで，筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえ，その論理性を評価すること。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通じて，筆者の思考を想像力豊かに読み取ろうとする態度を身につける。	想像力を働かせながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	論点の関係を捉えながら文章を読む。	論点の関係を捉えることで要旨を把握しながら文章を読んでいく。	発言や記述の分析
知識・理解	表現の特色を理解する。	文体やレトリックなど，表現の特色について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	茂木健一郎「最初のペンギン」	配当時間	3
学習のねらい	「最初のペンギン」が持つ意義を通じて、不確かさに立ち向かい、乗り越えるための方法について考える。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「最初のペンギン」が持つ意義について、事例を通じて考えようとする。	「最初のペンギン」が持つ意義について、考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。	文章の内容から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

教材名	中島敦「山月記」	配当時間	7
学習のねらい	「李徴」及び「袁慆」の視点に沿いつつ、〈語り手〉が構成する場面の意味を考える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	表現上の特色に注意しながら文章を読もうとする態度を身につける。	文章の特色に注目することで内容の深い理解を目指そうとしている。	行動の観察
読む能力	人物の心情を理解しながら文章を読む。	人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。	記述の分析
知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めている。	記述の分析

教材名	川上弘美「月火水木金土日」	配当時間	3
学習のねらい	小説世界を読み味わいながら、「籠おばさん」をめぐる「わたし」に起こった変化とその理由について考える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の情景や登場人物の心情を読み味わおうとする態度を身につける。	想像力を働かせながら情景や心情を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	人物の置かれた状況や場面の情景を理解する。	人物の行動や思考・心情を捉えながら読んでいる。	記述の分析
知識・理解	表現上の効果を理解する。	語句に関して、文脈上の意味への理解を深めている。	記述の分析

教材名	清岡卓行「ミロのヴィーナス」	配当時間	3
学習のねらい	「ミロのヴィーナス」に対する筆者の想いを読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して語彙を豊かにしようとする態度を身につける。	言葉による認識の可能性を広げながら読もうとしている。	行動の観察
読む能力	修辞の特色を吟味しながら文章を読む。	筆者の考えを把握しながら文章を読み取っている。	記述の確認
知識・理解	文章の特色を理解する。	文の照応関係や文章構成についてなどについての理解を深めている。	記述の分析

教材名	岩井克人「未来世代への責任」	配当時間	3
学習のねらい	「倫理」を否定するところから出発した経済学が、再び「倫理」の必要性へと到達する逆説を読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、主体的に考えようとする態度を身につける。	論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。	行動の観察
読む能力	論理の展開に注意して、文章を読む。	題材や材料、文の組立てに注意しながら、読み取っている。	記述の確認
知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。	記述の分析

教材名	岸田秀「恐怖とは何か」	配当時間	3
学習のねらい	人間は本来的に「自我」の安定を乱すものへ恐怖を抱くという筆者の主張を読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、思考力を伸長しようとする態度を身につける。	評論を読むことで、視野の拡充を図ろうとしている。	行動の観察
読む能力	構成を確かめながら、筆者の主張を読み取る。	筆者の考えの展開に注意しながら、文章の内容を読み取っている。	記述の確認
知識・理解	段落相互の関係を理解する。	文章の組立てについて理解を深めている。	記述の分析

教材名	谷川俊太郎「二十億光年の孤独」 吉原幸子「パンの話」 宮沢賢治「永訣の朝」	配当時間	3
学習のねらい	繰り返し音読することにより，それぞれの作品世界の理解を深め，詩人たちの個性に触れる。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで，筆者の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩のもつ独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれている情景を把握し，作者の思いを読み取る。	一つ一つの表現に即して，その意味を明らかにしている。	記述の確認
知識・理解	詩の表現形式や修辞を理解する。	詩の表現形式や修辞について，理解している。	記述の確認

教材名	「木に花咲き——短歌十五首」	配当時間	2
学習のねらい	近代から現代の代表的作者の手になる十五首の歌を読み味わい，そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで，筆者の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	短歌を読み味わう態度を身につける。	理解したそれぞれの短歌の内容を，朗読や鑑賞文に生かそうとしている。	行動の観察・記述の確認
読む能力	それぞれの短歌について，表現されている情景や感動の中心を読み取る。	それぞれの短歌について，その情景や短歌の中心を整理し，説明することができる。	記述の確認
知識・理解	短歌についての基礎的な知識を身につける。	韻律や区切れなど，短歌の基礎的な構造を理解している。	行動の観察・発言の分析

教材名	若林幹夫「メディアと歴史」	配当時間	3
学習のねらい	人間が生み出した道具や技術によって、私たちが拡張された身体と社会を生きているということの意味を読み取る。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

教材名	日高敏隆「木の葉と光」	配当時間	3
学習のねらい	「環境」ではない「環世界」への注視という筆者の意図を読み取る。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとしている。	目的に応じて、詳しく解説しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述しようとしている。	目的に応じて、詳しく解説している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

教材名	隈研吾「コンクリートの時代」	配当時間	3
学習のねらい	二十世紀を代表する、普遍的（グローバル）な技術としてのコンクリートがもたらした功罪について理解する。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動の観察

教材名	横光利一「蠅」	配当時間	4
学習のねらい	「空虚」な宿場の風景を踏まえながら、「蠅」が物語に対して持つ役割について考える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察

教材名	村上春樹「レキシントンの幽霊」	配当時間	5
学習のねらい	「僕」が「レキシントンの幽霊」の体験をどのように受けとめたのかを考える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察

教材名	阿部潔「スポーツとナショナリズム」	配当時間	3
学習のねらい	スポーツとナショナリズムに関する筆者の意見を通じて、自分の考えを持つことができる。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「スポーツ」における「ナショナリズム」のあり方について、本文を通じて考えようとする。	「スポーツ」における「ナショナリズム」のあり方について、本文を通じて考えようとしている。	行動の観察
読む能力	論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	論理展開に注目し、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

教材名	西谷修「戦争の〈不可能性〉」	配当時間	3
学習のねらい	核兵器によって、不可能な戦争の中に「宙吊り」になっている現代世界のありようについて読み取る。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

教材名	丸山真男 「『である』ことと『する』こと」	配当時間	4
学習のねらい	「である」論理・「する」論理という筆者の問題意識を踏まえ、社会事象を捉え直す観点を手に入れる。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	問題点を確認しながら文章を読もうとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の考えを過不足なく捉えている。	文脈を考え、語句や表現に注意しながら文章を読んでいる。	記述の分析
知識・理解	文章の内容を要約する方法を理解する。	文章の要点を押さえながら短くまとめる方法を身につけている。	記述の分析

教材名	夏目漱石「こころ」	配当時間	6
学習のねらい	叙述に即して人物の心情を読み取り，近代の小説世界を想像力豊かに読み味わう。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで，筆者の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の世界を，想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。	表現に即して，人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	叙述に即して人物の心情を読み取る。	情景や会話の描写から，人物の様子について考察しながら読んでいる。	発言や記述の分析
知識・理解	近代の文章や文学の変遷を理解する。	作者の思想や作品について，理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	松田美佐 『『選べる社会』の難しさ』	配当時間	1
学習のねらい	「選べる」社会が同時に「選ばざるを得ない」困難を伴う社会であることを理解した上で、それに対する自分の考えを文章化する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。	発言や行動の分析
書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。	個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	原研哉「空白の意味」	配当時間	1
学習のねらい	芸術空間における空白は「不在」ではなく、その向こうに奥行きを意識させるための装置であることを理解し、それに対する自分の考えを文章化する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。	発言や行動の分析
書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。	個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	鷺田清一「わかりやすいはわかりにくい？」	配当時間	3
学習のねらい	論旨を正確に追いながら、筆者の言う「思考」における「肺活量」が持つ意味について読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「思考」における「肺活量」の必要性について、引用事例を通じて考えようとする。	「思考」における「肺活量」の必要性について、引用事例を通じて考えようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	引用事例に注目し、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

教材名	池上嘉彦『『ブーボー』と『マンマ』の記号論』	配当時間	4
学習のねらい	筆者が述べる「符号」と「記号」の違いを踏まえ、人間が日常を超えようとする創造の営みについて考える。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

教材名	大岡昇平「靴の話」	配当時間	4
学習のねらい	「靴」を巡る出来事やその描写を通して、「私」の置かれていた心理状態について読み味わう。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察

教材名	安部公房「鞆」	配当時間	3
学習のねらい	「鞆」に対する「私」の考え方の変化を読み味わう。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察

教材名	黒崎政男「身体〈の〉疎外」	配当時間	4
学習のねらい	テクノロジーの発達によって、身体が私たちの心や意識を支配しかつ疎外しているという論理を読み取る。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

教材名	大西赤人「判断停止の快感」	配当時間	3
学習のねらい	現代の「清潔願望」が「判断停止の快感」へとつながっているという筆者の論理展開を読み取った上で、自分の考えを整理する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分の経験と照らし合わせながら文章を読もうとする態度を身につける。	現代社会の問題点を考えながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	問題意識を持って考察しながら文章を読む。	考えを深めたり発展させたりしながら文章を読んでいる。	記述の分析
知識・理解	必要な情報を収集し整理する方法を理解する。	事実や状況を客観的に捉える方法について理解を深めている。	記述の分析

教材名	柳澤桂子「病と科学」	配当時間	3
学習のねらい	人間が「科学」とどのように向き合うべきかについての理解を深めた上で、自分の考えを整理する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、題材やテーマについて考察しようとする態度を身につける。	評論を読むことで、ものの見方や考え方を広げようとしている。	発言や行動の観察
読む能力	論理の展開をたどりながら文章を読む。	文章の組み立てに注意しながら筆者の思考の筋道を読み取っている。	発言や記述の分析
知識・理解	段落構成の関係を理解する。	段落相互の働きについて理解を深めている。	発言や記述の分析

三省堂『精選現代文B 改訂版』（現B 324）評価規準例案 資料

教材名	高村光太郎「樹下の二人」 鮎川信夫「死んだ男」 島崎藤村「小諸なる古城のほとり」	配当時間	3
学習のねらい	近代から現代の代表的作者の手になる詩歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩歌を読み味わう態度を身につけ、相手に理解される朗読をしようとしている。	詩歌の思想や感情を理解して朗読しようとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの詩歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。	筆者の感じ方や考え方を捉えながら詩歌を読んでいる。	発言や朗読の分析
知識・理解	詩歌に用いられている表現技法を理解する。	詩歌に用いられている修辞について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	「渡り鳥——俳句十五句」	配当時間	2
学習のねらい	近代から現代の代表的作者の手になる十五句を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	俳句独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで俳句の韻律に慣れようとしている。	行動の観察
読む能力	情景や感動の中心を考察しながら俳句を読む。	思想や感情に注意しながらそれぞれの句を読んでいる。	朗読の分析
知識・理解	俳句の表現形式を理解する。	俳句の形式や修辞などについての理解を深めている。	記述の確認

教材名	高村薫『『私』消え、止まらぬ連鎖』	配当時間	3
学習のねらい	「欲望のための欲望」がうずまく現代社会において、一個人としての「私」に問われていることを考える。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通じて、筆者の思考を想像力豊かに読み取ろうとする態度を身につける。	想像力を働かせながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	論点の関係を捉えながら文章を読む。	論点の関係を捉えることで要旨を把握しながら文章を読んでいる。	発言や記述の分析
知識・理解	表現の特色を理解する。	文体やレトリックなど、表現の特色について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	見田宗介「南の貧困／北の貧困」	配当時間	4
学習のねらい	筆者の論理展開を踏まえ、「豊かさ」について考察し、自分の考えを整理する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者のものの見方や考え方に触れようとする態度を身につける。	視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	表現上の特色に注意しながら文章を読む。	用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。	記述の分析
知識・理解	自分の考えを文章にまとめる方法を理解する。	組み立てのしっかりした文章を書く方法を身につけている。	記述の分析

教材名	岡真理「虚ろなまなざし」	配当時間	4
学習のねらい	一枚の写真とそれを巡る出来事に対する筆者の問題意識を読み取る。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章を読むことを通して、視野の拡大と思考の深化を目指す。	筆者の考えをもとに自分の考えを深め、発展させようとしている。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	複合語や連語などについての理解を深めている。	記述の分析

教材名	森鷗外「舞姫」	配当時間	7
学習のねらい	描かれた時代背景と〈手記〉という形式に留意しながら、出来事の変遷と登場人物の心情の変化を読み取る。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。	表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	叙述に即して人物の心情を読み取る。	情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。	発言や記述の分析
知識・理解	近代の文章や文学の変遷を理解する。	作者の思想や作品について、理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	小川洋子「飛行機で眠るのは難しい」	配当時間	4
学習のねらい	小説世界を読み味わいながら、「男の話」を聞き終えた「私」に起こった変化とその理由について考える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、筆者の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の情景や登場人物の心情を読み味わおうとする態度を身につける。	想像力を働かせながら情景や心情を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	人物の置かれた状況や場面の情景を理解する。	人物の行動や思考・心情を捉えながら読んでいる。	記述の分析
知識・理解	表現上の効果を理解する。	語句に関して、文脈上の意味への理解を深めている。	記述の分析

教材名	宮下紘「忘れられる権利」	配当時間	3
学習のねらい	「忘れられる権利」をめぐる現状の問題点を踏まえたうえで、今後のルールのあり方について考える。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、主体的に考えようとする態度を身につける。	論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。	行動の観察
読む能力	論理の展開に注意して、文章を読む。	題材や材料、文の組立てに注意しながら、読み取っている。	記述の確認
知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。	記述の分析

教材名	加藤周一「日本文化の雑種性」	配当時間	3
学習のねらい	筆者の考える「日本文化の雑種性」について理解を深める。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き方に注意しながら文章を読もうとしている。	発言や行動の観察
読む能力	論理展開を捉えるための文章構成について理解する。	個々の段落の働きを確かめながら文章を読んでいる。	発言や記述の分析
知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	小林秀雄「無常ということ」	配当時間	3
学習のねらい	筆者が述べる「歴史」と「思い出す」こととの関係について読み取る。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の論理展開を把握しようとする態度を身につける。	題材や組み立てなどを読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の意図や主張を把握しながら文章を読む。	個々の段落の働きや段落相互の関係を読み取っている。	記述の分析
知識・理解	語句や語彙の構造的な仕組みを理解する。	熟語の修飾や被修飾の関係などについて理解を深めている。	記述の分析

教材名	内田樹「ネット上の発言の劣化について」	配当時間	1
学習のねらい	筆者が指摘する「情報の階層化」という事態を踏まえ、自分の考えを整理する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。	発言や行動の分析
書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。	個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	川口良・角田史幸「カタカナ語は享受すべきか」	配当時間	1
学習のねらい	「外来語の氾濫」についての筆者の指摘を踏まえ、自分の考えを整理する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。	発言や行動の分析
書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。	個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析

教材名	情報の読み方・扱い方	配当時間	3
学習のねらい	統計資料の読み方を学び、それを踏まえた自分の考えをわかりやすく整理する。		
言語活動例	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	さまざまなメディアを利用して必要な情報を収集し、その情報を活用して自分の考えを積極的に述べようとする態度を身につける。	図書館やインターネットを利用した情報の収集ができ、その情報が伝えようとする内容を理解しようとしている。	行動の観察
書く能力	統計資料に示されたグラフや表から得られた情報に基づいて、自分の考えをまとめることができる。	グラフや表から読み取った内容を踏まえ、自分の考えを述べている。	記述の分析
知識・理解	統計資料の読み方や分析の方法を理解する。	グラフや表から特徴的な傾向をつかむことができる。	記述の確認

教材名	報道の文章	配当時間	3
学習のねらい	報道の文章における構成について理解し、それに基づいて自らの手で報告内容を編集することができる。		
言語活動例	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	報道の文章の意図と特徴を理解しようとする態度を身につける。	報道の文章の意図と特徴を理解している。	行動や発言の分析
書く能力	報道の意図や表現の仕方について理解し、それを自分の編集作業に活用する。	報道の意図や表現の仕方について理解し、それを自分の編集作業に活用している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	情報の形態による特色について理解している。	記述の確認

教材名	調査から発表へ	配当時間	3
学習のねらい	調査の仕方とそれを整理・分析する方法を学ぶ。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	関心のある事柄についての的確な調査方法を選択しようとする態度を身につける。	関心ある事柄についての的確な調査方法を選択している。	行動の観察
話す・聞く能力	調べた結果をわかりやすくまとめ、伝えることができる。	調べた結果をわかりやすくまとめ、伝えることができている。	行動と発言の分析
知識・理解	アンケート調査の方法や分析の仕方を理解する。	アンケート調査の方法や分析の仕方を理解している。	記述の確認

三省堂『精選現代文B 改訂版』（現B 324）評価規準例案 資料

教材名	脚本の世界—創作	配当時間	3
学習のねらい	脚本や戯曲の形式について理解を深め、実際に書いてみる。		
言語活動例	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	脚本の世界が持つ特徴について理解しようとする態度を身につける。	脚本の世界が持つ特徴について理解しようとしている。	行動の観察
書く能力	学んだ事柄を活かして、実際に脚本を書く。	学んだ事柄を活かして、整った脚本を書くことができる。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組み立てについて理解している。	記述の点検